

1学期も残すところ1ヶ月となりました。今年度、一歩ずつ一中学生の学ぶ力を伸ばそうとさまざまな取組を行っています。そこで、学習で頑張っている一中学生の様子を保護者にお伝えしたり、学習に関して皆さんに紹介したりするために、定期的に「一中学習通信」を発行することにしました。

今回紹介するのは、今年から始まった朝の「学び合いタイム」です。これまで朝の自習時間は、読書やスタディサプリ、受験教材などに静かに取り組んで来ました。しかし、昨年度の生徒アンケートの中に、「授業の内容がわからない」、「質問したいけど、行くタイミングがない」「勉強がわからなくて困っている」などの意見が見られました。

そこで、朝の時間を活用して、生徒主体で「わかっていない（できていない）

生徒が堂々と『わからない（教えてほしい）』と言う、「わかっている（できている）生徒が積極的に教える」という学び合いの時間を設けることにしました。5月にスタートした頃は、自分からわからないことを言えなかったり、集団で固まり、学び合いが進まないことも多かったりしましたが、回数を重ねる毎に「わからない」ということを周りに伝えたり、自ら動いて教えて回ったりする生徒も増えてきました。

「学び合いタイム」では、学級全員で「わかった」、「できた」を喜び合う（味わう）ことを目標にしています。まずは、自分でしっかりと考えてみて、わからなければ、自分が積極的に行動すると必ずわかるようになります。日頃の授業も含めて、みんなで頑張っていけるようにこれからも学校全体で取り組んでいきます。

学校教育目標

「みんなが安心して笑顔で過ごせる学校」

学級集団づくり

「誰とでも関わり合える・信頼し合える学級」

【学び合いタイムの目標】

**学級全員でわかった・できたを喜び合う（味わう）
そのために・・・**

- ・わかっていない（できていない）生徒が堂々と「わからない（教えてほしい）」と言う
- ・わかっている（できている）生徒が積極的に教える

まずは、自分で考えて解いてみる



あっ、でも□□が先に
くるんじゃない？

わからないところを、周りに聞く

ここは、どうやって
解けばいいの？



この問題は、まず
こうやって・・・



これは、〇〇って書け
ばよかったよね。

わからないところを、一緒に考える